

救急車を呼ぶか 迷ったときは使って



救急車を
呼ぶときには必ず
119 通報
してね！



救急車を呼ぶか迷ったら
次ページの判断基準
を参考にしてください！



この基準に
あてはまる
症状があれば
迷わず救急車
を呼ぼう。

全国版救急受診アプリ
愛称「Q助」

症状の緊急度を素早く判定！

QRコード
→



救急安心センター事業

#7119
もしくは086-222-7119

24時間
365日対応



小児の夜間救急相談

#8000
もしくは086-801-0018

平日：19時～翌朝8時
土曜日：18時～翌朝8時
日・祝・年末年始：朝8時～翌朝8時
概ね16歳以下のお子様とその保護者



救急車を呼ぶか困ったら病院に相談してみてください

金田病院 ☎ (0867) 52-1191
落合病院 ☎ (0867) 52-1133
津山中央まにわ病院 ☎ (0867) 44-2671

勝山病院 ☎ (0867) 44-3161
湯原温泉病院 ☎ (0867) 62-2221

※真庭市救急指定医療機関のみを掲載しています。

生命を守るために、救急車の適正な利用に
ご協力をお願いします。



真庭市消防本部
MANIWA FIRE DEPARTMENT

救急車を呼んだ時のやること



119 番通報したときに聞かれること

住所（救急車を向かわせる）	
近くの目印	※お店、公共機関、工場など
誰が、どうしたのか？	※持病、けが、事故など
年齢・性別	（ ）歳（ 男性 ・女性 ）
意識と呼吸はあるか？	
症状は何か？	
持病・かかりつけ病院	（ ）で（ ）病院にかかっている
飲んでいる薬	

① 患者の状態を確認する

反応と呼吸を確認します。

肩を軽くたたきながら
声をかける
「大丈夫ですか？」

胸とおなかの動きを見て
呼吸を確認する
(10秒以内)

反応がなく、呼吸がない、または
普段どおりの呼吸でない場合は、
心停止の可能性があります。



② 胸骨圧迫（心臓マッサージ）を行う

反応がなく、呼吸がない、または普段どおりの呼吸でない場合は、
胸骨圧迫を開始します。

ポイント

- ・強く（約5cm）
- ・速く（100～120回/分）
- ・絶え間なく



救急隊が到着するまで、またはAEDが届くまで続けましょう。

③ AEDを使用する

AEDが届いたら、電源を入れて、音声の指示に従って使用します。

手順のポイント

- ① 電源を入れる
- ② パッドを貼る
（右上の胸・左わき腹）
- ③ 解析ボタンを押す
（必要な場合）
- ④ ショックが必要な場合は、
周りの安全を確認してから
ショックボタンを押す
- ⑤ 音声の指示に従う



AEDが到着したら、すぐに使用しましょう。
救急隊に引き継ぐまで、または指示があるまで続けます。



救急車が来るまでに用意するもの



保険証



お薬手帳
（普段のんでいる薬）



母子手帳



携帯電話



マスク



マイナンバー
カード



処置についてご理解いただきたいこと

近年、救急現場でDNAR(蘇生措置拒否)を家族の方からお願いされることがあります。しかし、現行の法律では救急隊が心肺停止の患者さんに処置をすることなく病院に搬送することはできません。救急隊が必要と判断した場合は、処置をさせていただくことがありますのでご理解ください。

ためらわずに救急車を呼んでほしい症状

大人・高齢者

顔



- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

頭



- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

胸や背中



- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 締め付けられる痛み
- 圧迫される痛み
- 痛む場所が移動する

おなか



- 突然の激しい腹痛
- 続く激しい腹痛
- 血を吐く、血便

手・足



- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

意識の障害



- 返事が無い
- ぐったりしている

けいれん



- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても意識がもどらない

けが・やけど



- 大量の血が出ている
- 広範囲のやけど

吐き気



- 冷や汗を伴う強い吐き気

飲み込み



- 物をのどにつまらせた

事故



- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

こども(15歳以下)

顔



- くちびろの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

頭



- 頭を痛がってけいれんがある
- 頭を強くぶつけて出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

胸



- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い
- 息を吸うときに苦しい

おなか



- 激しい下痢や嘔吐で水分がとれず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいお腹の痛みで苦しがる
- 嘔吐がとまらない
- 便に血がまじった

手・足



- 手足が硬直している

意識の障害



- 返事が無い
- ぐったりしている

けいれん



- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても意識がもどらない

けが・やけど



- 大量の血が出ている
- 広範囲のやけど

じんましん



- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔が悪くなった
- 食べ物を食べてじんましんがでた

飲み込み



- 物をのどにつまらせた
- 呼吸が苦しい、意識がない

事故



- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた
- 水におぼれた
- 高いところから落ちた

その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合
高齢者は自覚症状が出にくい場合がありますので注意！

その他、お母さん、お父さんが見て、
いつもと違う場合、様子がおかしい場合